

R5. 2. 20 富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議「中小企業支援専門部会」

富山県の最近の経済情勢

1 物価

○国内企業物価指数 (R5. 1月) : 前年同月比+9.5%上昇

- ・ 指数は10カ月連続で過去最高、23カ月連続で前年の水準を上回った。
- ・ エネルギー価格の高騰を転嫁する動きが長期化し、電力や都市ガスが全体を押し上げる状況が続いている。

○富山市の消費者物価指数 (R4. 12月) : 前年同月比+4.0%上昇 (全国平均と同じ)

- ・ 前月 (+3.7%) から伸び率が高まった (全国も同様の動き)
- ・ 第2次オイルショックの影響を受けた昭和57年7月以来、約40年ぶりの水準

日銀富山事務所：目先は高めの伸びが続くが、その後は輸入物価の上昇を起点とした値上げが物価を押し上げる力は徐々に弱まっていく。また、政府の経済対策（電気代・ガス代の負担緩和策など）によるエネルギー価格の押し下げ効果もあり、今年の半ば（夏場から秋口）にかけてプラス幅は縮小すると予想

2 価格転嫁の状況

○富山県景気定点観測アンケート調査結果 (富山経済同友会 R4. 12月公表)

調査期間：2022年12月1日～15日
 調査対象：富山経済同友会会員408社、回答数：164社（製造業47社、非製造業117社）
 「原材料・エネルギー価格の上昇による影響について（抜粋）」

- ・ 対策としては、「価格転嫁」が最も多く、7割を超え、前回（2022年7月）よりも上昇（65%→73%）した。
- ・ 価格転嫁率は、「10%未満」（27%）、「10%以上30%未満」（27%）が最も多く、価格転嫁率を「不十分」とする企業が8割を超える（82%）。
- ・ 価格転嫁を行わない、価格転嫁が不十分な理由として、「他社との競争のため」（48%）、「価格交渉が困難」（47%）を挙げる企業が多い。

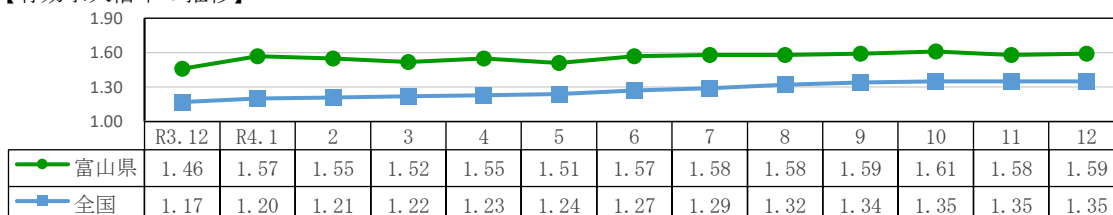
3 県内の雇用情勢

富山労働局：雇用情勢は、求人が求職を大幅に上回って推移し、改善の動きがみられるが、感染症や物価上昇が雇用に与える影響に注意する必要がある。

○有効求人倍率 (R4. 12月) : 1.59倍 (全国第8位)

(参考) 全国 1.35倍、石川 1.62倍 (全国第6位)、福井 1.82倍 (全国第1位)

【有効求人倍率の推移】



○完全失業率 (R4. 7～9月) : 1.6% (全国第3位)

(参考) 全国 2.6%、石川 1.9% (全国第12位)、福井 1.7% (全国第8位)